

Win

Mac

# 書 体

2025.6現在 59書体収録

# 組 貝 本

DS ゆかり  
DS カクウチ  
DS かぜゆらぎ  
DS ここちどり  
DS アメンボ  
DS ルート7  
DS ホタル  
DS 風流  
DS ツリー  
DS 新学園  
DS 新笑点  
DS スゴロク  
DS サラ  
DS サイコロ  
DS がってん  
DS かきやるま  
DS くま3く  
DS 照和80  
DS 散歩歩  
DS ぼっち  
DS 楽楽  
DS ポップス  
DS 潮風  
DS こたま  
DS Uかり  
DS ビコロ  
DS ストロング  
DS コリゲンス  
DS 青空  
DS まごころBro.1  
DS まごころBro.2  
DS まごころBro.3  
DS タイプ7  
DS アンケラ  
DS ゆたぽぽ  
DS そよ風  
DS なみ風  
DS あかり  
DS バンカラ  
DS ハイカラ  
DS 金七  
DS 楽楯  
DS マンボ  
DS ルンバ  
DS 歩明  
DS きりぎりす  
DS 筆七七  
DS ぐぐ  
DS ありんこ  
DS 照和70  
DS 一支國  
DS フラミンゴ  
DS ステージ1  
DS パースディ19  
DS パースディ21  
DS トウモロースキップ  
DS トウモロードリーム  
DS トウモロウオーク  
DS ユーミンウオーク

七種 泰史 / SAIKUSA, Yasushi  
株式会社 デザインシグナル  
<https://design-signal.co.jp>  
mojimoji@design-signal.co.jp

# 三ほ 姉が 妹ら か

緑の風がそっと背中を押す。  
若葉トンネルの木漏れ日の道。

鳥たちが語りかけるように歌い、  
小川のせせらぎが静かに寄り添う。  
三つの影が並んで揺れる。

小さい頃と同じ順番。  
笑い声が枝を揺らし、木の葉も歌う。  
遠い昔の思い出がそっと花ひらく。

川に落ちた思い出、ずぶ濡れの記憶。  
頬をなでる風が、その時の冷たさを  
思い出させてくれる。

今はすっかり、それすらあたたかい。  
Full of memories and treasures.

こころが帰るやさしい岸辺。  
この場所この時間が、三人だけのゆかりの地。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&`()\*+,-.



窓から差し込むやさしい日差し。  
カーテン越しに風が揺れる。

さ 風  
さ が  
やさ 運  
さ。 ぶ

窓の外は青々空が広がり、  
風が樹木の葉を揺らしている。

豆を挽き、お湯をそそぐ。  
香ばしい香りが一日のはじまり。

ベランダで朝食、Good morning coffee.  
蒸気が風に乗ってふわふわふわ。

風のやさしさを聴きながらぶらりと近くの公園。

木漏れ日の道を進むと、いつものように  
風がカラダを包み込むように吹き抜ける。

The wind brings happiness.

子供も仔犬も揺らぐゆれる、踊るはねる。

風に乗って、波に乗って。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

踊り子のように

軽やかにステップ。

朝陽が差し込む美しい光景。

自  
然  
に  
。。

小さな体は宝石のように

今日も輝きキラキラまらきら。

風になびき、翼を広げ喜びいっぱい。

枝から枝へホ々の間を上手に飛び回り  
森の中を気持ちよさそうに駆け巡る。

時折、仲間たちとのアイコンタクト。

黄色いアイリングがとてもステキだ。

Very cute and attractive.

ピィ〜ユ、ピィ〜ユ、ピォピォピォピォ。

美しい声で歌いながら鳴き交わす、

自然とのここちいいハーモニー。

よちよちちどり、ちよこちよこちどり。

いつでも自由に。どこでも自然に。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:;<=>?@!"#\$%&\'()\*+,-.

ポカポカ  
 曜。曜。曜。

サウサウ流れる川の音。  
 ポカポカあったか曜曜。

川面で跳ねる跳ねる小ぢやなメダカ。  
 タモを持って追いかける。息を潜めて、  
 狙いを定めてパッ!パッ!パッ!。

どこからやってきたのか?  
 忍者のように素早いアマンボ。  
 水面に波紋を描いてスイスイ、スイスイ。  
 So beautiful, so wonderful.

田んぼにはゲンゴロウ、ミズスマシ、オケラケラ。  
 泳いだり、潜ったり、かくれんぼ。  
 小さな生き物たちも陽気にゆらりゆらり。

畦道に健気に咲いたペンペン草。  
 駆け巡る子どもたち。泥まみれの子どもたち。

wow! yay! きゃ～、きゅ～。叫ぶ、笑う、  
 ○▼××※△☆▲※◎★●!?, Oh my God!

ABCDEFGHIJKLMNOpqrstuvwxyz

0123456789.;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

まわり道、  
寄り道、  
まわり道、

どこまでも続く長い道。  
寄り道、まわり道、迷い道。  
ただただ向かう北へ北へ。

清らかな秋の風、ウロコ雲。  
風になびくススキの草原に  
ポツポツと咲いているリンドウの花。

どことなく寂しさをも感じてしまうが、  
大切なものを思い出させてくれそうなの…。

山の斜面は深紅のジュータン。  
自然が織りなす、amazing work of art.

色鮮やかな花々と爽やかな香りが  
明日の道を照らしてくれそうなの。

澄んだ秋の夜空に打ち上がる色とりどりの花火。  
静けさの中に鳴り響く応援symphony.

まだまだ向かう、明日も向かう、北へ北へ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ゆほ  
らた  
ぎの

こちよい風、柔らかな光、  
心躍る夏の夜。川面に映る光と  
自然が奏でる優しいナロディ。

静かに流れる水は  
時折小さな岩や枝に触れ  
リズムを変える。

夜空は今にも落ちてきそうな満天の星。  
キラキラ、ピカピカ、とてもきれいだ。

暗闇で舞い踊る輝くホタルたち。  
点滅する柔らかな光は  
新鮮な空気をいっぱい吸い込んで  
優しく呼吸してるかのようで、とっても幻想的。

川面に映り込む星と同じようにキラキラピカピカ。  
こころ和む音楽のような1/fのゆらぎ。

輝く星とホタルの光との、ひと夏の共演。  
Romantic, wonderful & mysterious.  
忘れかけてたこころ安らぐ夏の風物詩。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

森の中の清楚な佇まい。

鐘楼門をくぐり抜けると、  
静かで落ちついた雰囲気の中に、  
美しい庭園、由緒ある建物が広がっている。

畳敷きの床、襖、屏風に黒光りの廊下。  
部屋には源泉かけ流しの温泉。気分は上々。

庭園はピンク、白、黄色の鮮やかな花が咲き誇り、  
水も緑も調和した素晴らしき和の景色。  
水鳥たちも高音で迎えてくれる。  
古典的な絵画、石灯籠も風情を醸し出している。

庭園を眺めながらの地の懐石料理。  
目にも美味しいタケノコ、ワラビ、コゴミの天婦羅。  
It was very delicious.

シンプルが堪らなくいい、鮎の塩焼き。  
Simple is best, very, very good.

今宵今夜はココロ穏やかにひと休み。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ひ  
と  
休  
み  
で、

ときめき  
キラメキ  
木。

まっ赤なお鼻のトナカイさんは  
いつもみんなの笑いもの…。

もみの木、もみの木、いつも緑よ。  
輝く夏の日、雪降る冬の日…。

元氣いっぱいの子びっ子合唱団。  
リンリンチャカチャカ楽しそう。

ときめき木ロードもすっかりリメイク。  
キラキラピカピカ、とてもきれいだ。

ジンゲルベルに街が、浮き足だった夜…。  
不沢をも歌った70年代、なつかしい。

雨は夜更け過ぎに雪へと変わるだろう。

Silent night, Holy night.

グッとまたな、80年代あのTVCM.

今もなお歌い継がれる歌がいる。

クリスマスキャロル、Merry Christmas.

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

デ想  
コい  
ボ出、  
コ。

夏だ、休みだ。海だ、山だ。

ランニングシャツに半ズボン。  
ビーチサンダル、水中メガネ。  
着替えも持って、毎日通った近場の海。  
とこそこ歩くジャリ道を  
砂ぼこり立てて自慢げに走るSUBARU360。  
腕立て、腹筋、うさぎ跳び。  
「気を付け。目をつぶれ。歯を喰いシバレ」が、  
あたり前だったような、当時の担任。  
「今では勤まりませんね」と苦笑い。

雨の日も風の日も負けずに走った原付バイク。  
飛んだり跳ねたり、奔ったり歌ったり。

Shoutで叫んだ青春の詩。  
輪になり踊ったkorobushka。  
風をあつめて、はっぴーえんど。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456'789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ムカデ君と  
ヨシ君とイモ虫君。

ある日のこと、仲良しのムカデ君と  
ヨシ君とイモ虫君が徐々に会い、  
イモ虫君の家で宴会が始まりました。

しばらくして酒が残り少なくなると、  
「ちょっと近所の酒屋まで  
買いに行ってくょうか？」と  
イモ虫君が言い出しました。

「イモ虫君の足では明日になってしまう。  
僕が行こう。」と、ヨシ君が言い出しました。

「いやいや、ヨシ君はピョンピョン跳ねるから  
酒がこぼれちゃう、僕が行くよ。」と  
ムカデ君が言って、いそいそと部屋から出て行きました。

ヨシ君とイモ虫君は、ちびりちびり飲んで待っていましたが、  
なかなかムカデ君が帰ってきません。

「ううん、遅いな～。迷子になったのかな？」とイモ虫君。  
「おかしいな、探しに行くよ。」とヨシ君が部屋から出ると、  
なんとムカデ君は玄関で靴を履いているところでした。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789;.<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

感謝。  
元気  
に

梅は咲いたか。

桜はまだかいな。

電車に揺られ、ガクンゴトン。

出店いっぱいのお参道は、

今日も元気いっぱい。

池にかかる3つの太鼓橋。

振り返らず、立ち止まらず、つまずかず。

と過去、現在、未来と渡っていく。

白い花、紅い花が出迎えてくれる梅公園。

とてもきれいだ、very nice.

大きな願いはないが、振り続ければ‘0’はない。

これまでの元気にそっと感謝。

梅酒の神酒に、素朴が嬉しい名物つぶあん餅。

ちょっとお休み。Goalはもうすぐ、春はすぐそこ。

ABCDEFGHIJKLMNOpqrstuvwxyz

0123456789.:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

サキ  
 ララ  
 サキ  
 ララ  
 。

清流のせせらぎ、  
 野鳥のさえずり、葉ずれの音。  
 溪流沿いの散歩道。

揺れ動く木々に輝く川面。  
 動の流れ、静の流れ、  
 キラキラサラサラこちよい。

苔を纏った盆栽のような岩が、  
 時の流れを変えていく。

木漏れ日浴びるブナ林。落ちてくる滝しぶき。  
 今も変わらぬ、どこか懐かしNostalgie.

色づいた山々、連なる渓谷。  
 ふくふく涌くわく乳白色の露天風呂。  
 大地を丸ごと食す、山人料理。  
 ゆったり、のんびり Power charge.

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

南へコロコロ。  
東へクルクル。

空は今日も笑っている。  
東から西へ陽はまた昇る。

東へ行こうか。西へ行こうか。  
南に行こうか、北に行こうか。  
道はいくつにも分かれている。

風は南から吹いている。  
雲はふわふわ浮かんでいる。  
お・陽さまは今日も明日を照らしている。

どうせあてのない旅なら、  
クルクルまわして、ちょちょいのちょい。  
ぐるぐる転がし、Let's a go!

ちょっといいことありそな、コロコロ気分。  
ゆっくり、のんびり、Que Sera Sera。  
元気をしよって歩いて行こう。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789.;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ちよいと  
寄り道。  
小さな春。

すっきり晴天、気持ちいい。  
こんな日は足取りも軽く、

いつもよりいっぱい歩いてしまう。  
スズラン、ツツジ、チューリップ。  
黄色にピンク、紫と。笑顔がいっぱい。

ぐるりと公園ひとまわり。  
水辺には春を呼ぶスイセン。  
ひょっこり顔を出したツクシボウ。  
ここにも生まれたばかりの小さな春が。

ガード下の小さなお店は  
ビールケースのイスにテーブル。  
キュンと冷えたBeerに激安おつまみ。

がってん、ばってん、ところてん。  
あたりめLagerにショーチューの助。  
ちよいと寄り道。流るる汗もここちよし。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

森を抜けて、丘を越えて、  
川から㊦㊧と、風が吹いてくる。

㊦  
㊧  
㊨  
㊩  
㊪  
㊫  
㊬  
㊭  
㊮  
㊯  
㊰  
㊱  
㊲  
㊳  
㊴  
㊵  
㊶  
㊷  
㊸  
㊹  
㊺  
㊻  
㊼  
㊽  
㊾  
㊿  
0  
1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
:  
;  
<  
=  
>  
?  
@  
!  
"  
#  
\$  
%  
&  
'  
(  
)  
\*  
+  
,  
-  
./

木々が揺らぎ、花はそよぎ、  
色づいた折り紙のような葉っぱは、  
はげやかに風に舞う。

空にはちゅわんちゅわん雲。  
並んで飛んでいる渡り鳥。  
原っぱではぐるぐる駆け回る子供たち。

A little time, じっと空を眺めている。  
旅の終わりがささる、はじまりもささるから。  
過ぎ去った遠い昔も、正無沙汰の人の懐りも、  
みんな風が運んでくれる。

近くで遠いあの方も、遠くで近いあの人も  
みんなも乗せて、ぐるぐるぐるぐる回っている。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ホ ゴ  
 ○ ○  
 ホ ゴ  
 ○ ○  
 ○ ○

大都会の街角、  
 看板もない小さな一軒のお店。

手づくりクッキーと惣菜パンや  
 菓子パンが並んでいる。

色や形のバラツキも、いい味を出している。  
 ステンレスのトングに木のトレイ。  
 接客はおばあちゃんただ一人。  
 手づくりPOPが、これまたほっこり。

丸入りの焼きそばパンに、  
 ゴロゴロじゃがいもコロッケパン。  
 ジャリッとザラメで覆われたクッキー。  
 サクサク、ホロホロ感が混ざり合う。

懐かしき子供の頃がよみがえる。  
 木の実のクッキー、冷やミルク。  
 これで決まり。今日もまだまだ暑いぞ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
 0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

# 夏の思い出 遠い遠い 思い出。

かんかん照りつける真夏の炎天下。  
山と湖に囲まれた権の湖自然公園。

若者、家族連れ、おじちゃんおばちゃん、  
地の人もいっぱいだ。新設されたステージから  
「いこまいか。まだまだ間に合う…」と  
ナターシャのオープニング曲が響きわたる。

森の中から機関銃のような大きな音が近づいてくる。  
Amp.もしよった、カレーライスが好きなミュージシャン。  
コロコロ跳ねるバンジョー、高音で歌うマンドリン。  
ジャカジャカ刻むギターに太鼓。

踊る若者たちは、ちょっとイカした16beat。  
キラキラ輝く笑顔と太陽。なぜか「雨が空から降れば」、  
「どうにかなるさ」と、自由気ままなお祭り騒ぎ。

ほっかぶりした大人たちは大きな声で、すぎたアルコール。  
自然をかけまわる子供たちと湖畔を走る、キミ Medalist。  
若き日の遠い遠い夏の思い出。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

# 土蔵造りの商家や町家が 建ち並ぶ、お堀水路の散歩道。

時を歩こう。  
歩こう、

雨上がりの水たまりに映る光景。  
石造りの建物から見える景色は、  
切り取った一枚の絵画のようだ。

コタツも乗せた冬支度のどんこ舟。  
水面に揺れる柳の上をスイスイ、スイスイ。  
みんな笑顔であったかそうだ。  
一本の竿を巧みにさばく船頭さん、  
波紋を残してゆ～らゆら、ゆらゆら。

ナマコ壁の蔵、赤煉瓦、時の建物。  
あっちこっちに文人たちの文学碑。  
詩人の詠んだ「からたちの花」。  
春先にはきって甘い香りの真っ白な花が。

ワラスボ汁でめくめくポカポカ。  
湯ったりぽっかり足湯でひと休み。  
もすこし歩こう、あの角を曲がれば目抜き通り。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

歩  
いて  
帰  
る  
う。  
ぽ  
っ  
ち  
ぽ  
っ  
ち

夕焼け小焼けの赤とんぼ。

カエルの合唱も

蝉の声も、もう聞こえない。

照り続けたお日様さんも、ひと休み。  
田んぼには、たわわに実った金色の稲。  
ススキやコスモスが風に揺れ、  
草むらには「チンチロリン」と虫の声。

澄みきった空気、風鈴の音がこころいい。  
西の空に沈む夕日がとてもきれいだ。

収穫を終えて月見て一杯。  
ひやおろしに焼きキノコ。  
ぽちぽち、ぽちぽち、ぽっち pocchi。

まだまだ夜は長いけど、そろそろ帰るう。  
夜空は星がいっぱい。上を向いて歩いて帰るう。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

空 楽  
中 しい  
散 風、  
歩。

緩やかなカーブを Up down。  
連続して続く峠道。

緑が風に揺れ、  
やがて雄大な連山が見えてくる。

大高原に放牧された牛や馬。  
眩しいほどの緑の山々。

モクモクと湧き上がる湯けむり。

山の中腹から現れた、落差が大きい三つの滝。  
しぶきでココロもしっかり浄化。

大きい吊り橋を渡る。涼しい風が通りぬける。  
まるでラクラクスイスイ空中散歩。

一面に広がる花じゅうたん。  
青空、こちよい風、深呼吸。  
のんびり、ゆったり、Hop step。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

街の灯りが、  
ドウビドウバ。

チャンネル回せば  
いつも流れてたヒット曲。

街の灯りがとてもきれいな…。  
港の見える丘公園。

よこはま、たそがれ…。  
息をこらして録音したカセットテープ。  
くるくる回し、いつものお店にダイヤル電話。  
スタンドグラスの入口くぐれば、  
異国情緒なカクテルバー。  
コインで歌うドーナツ盤。

Yokohamaカクテル片手に、  
ドウ ドウビ ドウビ ドウビ、ドウビ ドウバ。

路地裏には壊れたイスに飲みかけのペットボトル。  
汚れた灰皿、煙草の香り。こんな時代もあったねと。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

波風  
の音、  
しぶき。

波の音、風の音。白い雲、白い砂。  
まぶしく続くエメラルドの海、  
サマルカンドな青い空。

ぽっかり浮かぶ小さな小島。  
海面から現れた参道を渡れば、  
まるでモンサンミッシェル。

玄界灘で捕れた魚たち。  
力強く生き抜いた海の幸。  
ミネラル草で育った牛たち。  
荒波で削られた断崖絶壁。

潮の香り、波しぶき。海鳴りが歌う子守唄。  
自然が明日をくれるPower Spot。

地平線、水平線。夜の海を彩る海ホタル。  
目を閉じれば潮風が吹き込んでくる。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+.-.

こ  
だ  
ま  
す  
る。  
遠  
い  
昔  
が

真っ青な空と雪を頂いた山々。  
冷やされた空気、木漏れ日。

吊り橋を渡れば、  
たっぷりの自然の中に。  
ゆっくり流れる清流、  
ゆったり流れるひととき。

野鳥のさえずり、  
肩を寄せ合い咲いている、  
可憐な野の花、ニリンソウ。

長い時を経てできた  
原生林の中にぽっかり浮かぶ  
幻想的な池には、岩魚が優雅に。

鏡面のように映し出す雄大な春景色。  
あの山越えればヤッホー、Yahho。  
遠い昔がこたまする。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

**鮮烈な色彩が大渓谷を覆う  
ダイナミックな秋景色。**

**巨大絶壁がそそり立つ。**

**ゴツゴツとした岩肌と**

**紅葉のコントラスト。**

**交差する光りと影と影法師。**

**川沿いの散策路。**

**上流からマイナスイオンがおちてくる。**

**原生林に抱かれたPanorama露天風呂。**

**赤、黄に色づき、青い湖面に映り込む。**

**まるで絵画のような夢世界。**

**木々の彩り、自然の雄大さ。**

**流れが止まったような、時間が止まったかのような。**

**ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ**

**0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.**

**夢彩光  
景りりと  
景色。**

ピコロ

piccolo

キーンコーン  
カーンコーン。

今日も元気におはようさん。  
みず色帽子に白いシャツ。

からだいっばい大きな声で  
太鼓たたいて、笛吹いて、  
しゃんしゃん手拍子、足拍子。

ピョコピョコ跳ねるピコロコロ。  
コロコロ転がりピコロコロ。

くるくる回る子供たち。  
イキイキ走る大きな夢。

Let's go! いいことあるさ。  
レッツゴー、いいことあるさ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

あ  
い  
レ  
ある  
いい  
こと  
ある  
さ。  
ッ  
ッ  
ゴー、

**ストロング**  
**strong**

**エ** **い**  
**の** **つ**  
**ろ** **か**  
**の**  
**。**

**ビルのまちにガオー。**

**ポバンポバンボン ブンバボン。**  
**空をこえて ラララ 星のかなた。**  
**走れエイトマン、弾よりも速く。**

**立て、レオ、パンジャの子。**  
**白いマフラーは正義のしるし。**

**ぼ、ぼ、ぼくらは少年探偵団。**  
**勇気りんりん瑠璃の色。**

**どこの誰かは知らないけれど。**  
**風呂敷マントで口ずさみ、**

**棒切れもってチャンchan バラbara。**  
**空手chop、雷電drop、真空飛び膝蹴り、**  
**天に向かって「シュワッチ！」。**

**ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ**  
**0123456789::<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.**

底石を洗い  
流木に生えた水草も  
きれいにトリミング。

ウ  
笑  
イ  
顔  
ン  
で  
ワ  
。

カルキを抜いて、  
おいしい水ができあがったら、  
笑顔のギョ○ギョ○コリドラウインク。

流木にのぼったり、  
水草をモフモフしたり、  
とぼけた顔して笑っている。

水の流れにのって、水面でもごあいさつ。

アマゾン生まれの赤コリ、青コリ、白コリ、  
ジュリーもパンダもステルバイも一緒に踊り出す。

連られてちびちびパンダもしっぽふりふり、  
おしりふりふり、シンクロナイズドスイミング。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

口笛吹けば、  
いつもの通りが  
ウインクするよ。

二人が歩く道には、  
いつでも日射しがこぼれ。

どうせここも、すぐに出て行くさ。  
この街に着いた時、あなたは言ってたわ。  
だけど私には分かっていたの。

風が吹けば、窓の外木の葉が踊り出すよ。  
あなた誘われて、  
ブーツを鳴らして外に出るよ。

道行く人は誰も顔見知り、  
馴染みの店を覗けば、いつもの唄が。  
そうよ私には分かっていたの。

こんなに空が青くては。もうどこへも行けないと。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789.:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

青くは。  
空がこんなに

ぶらりと  
小さなお店。

のどかな田園風景、  
古びた煉瓦造りの倉庫。  
れんげ草が、一面に咲いている。

田んぼの向こうはノコギリ状の山が連なり  
メタリックブルーの特急電車が駆け走る。  
様変わりした駅前で、キミは迎えてくれた。

ぶらりと入った小さなお店。  
懐かしい音が聴こえてくる。  
忘れかけてた昔ばなしが目覚ます。  
見えない優しさも見えてきた。

街はすっかり変わったけど、  
そこには変わらない1975のボクたちがいた。

いっぱい笑った。こころから笑った。  
今日の一杯はホントにうまかった。

Thank you very much for your sincerity.

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

懐かしい音。  
昔ばなし。

のどかな田園風景、  
古びた煉瓦造りの倉庫。  
れんげ草が、一面に咲いている。

田んぼの向こうはノコギリ状の山が連なり  
メタリックブルーの特急電車が駆け走る。  
様変わりした駅前で、キミは迎えてくれた。

ふらりと入った小さなお店。  
懐かしい音が聴こえてくる。  
忘れかけてた昔ばなしが目を覚ます。  
見えない優しさも見えてきた。

街はすっかり変わったけど、  
そこには変われない1975のボクたちがいた。

いっぱい笑った。こころから笑った。  
今日の一杯はホントにうまかった。

Thank you very much for your sincerity.

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

今日  
の  
一  
杯  
。  
変  
わ  
ら  
な  
い  
、

のどかな田園風景、  
古びた煉瓦造りの倉庫。  
れんげ草が、一面に咲いている。

田んぼの向こうはノコギリ状の山が連なり  
メタリックブルーの特急電車が駆け走る。  
様変わりした駅前で、キミは迎えてくれた。

ふらりと入った小さなお店。  
懐かしい音が聴こえてくる。  
忘れかけてた昔ばなしが目を覚ます。  
見えない優しさも見えてきた。

街はすっかり変わったけど、  
そこには変われない1975のボクたちがいた。

いっぱい笑った。こころから笑った。  
今日の一杯はホントにうまかった。

Thank you very much for your sincerity.

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

街の中は、キラキラ輝く  
イルミネーション。  
クリスマス装飾された  
やさしい光が微笑んでいる。

決小  
め粹  
て、  
Cheers.

街路樹いっぱい飾られた通りをくぐりぬけ、  
少し坂道をのぼったところにある、  
隠れ家のような、小さな洋風料理店。

ドアを開け、靴を脱ぎ、板敷きの店に入ると、  
いつもオーナーシェフが、笑顔で迎えてくれる。  
店に上がると左側に小さなカウンター。  
右端が私のいつもの指定席。

生演奏を聴きながら、  
今日はいつもとちがうミディアムボディ。

ちょっと気取って小粹に決めて、  
Happy Birthday & Merry Christmas.

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

さびれた港町。凍てつく潮風。  
街の中の小さな音屋から  
普段着の歌が聴こえてくる。

どこからともなくやってくる、  
サイケな人たち。

しゃがれ声でつぶやき、語り、叫び吠える。  
夢に気持ちを託す。音に言葉をのせる。

時には優しく切なく。

時には熱く激しく鳴り響く、ブルースグループ。

人々の息づかいが、音の中に吸い込まれていく。

そしてまた新しい時代空気が掃き出され、

いくつもの出会いと、いくつもの別れを繰り返す。

一体そこに何が待っているのか？。目の前すらわからない。

ただ、ただ、迷路の中を駆け巡る。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

熱く  
激しく。  
優しく  
切なく。

ポ  
カ  
ポ  
カ  
。  
こ  
こ  
ろ  
も

目が覚めると畑や田んぼは  
白一色の銀世界。

棒切れを持ってチャンチャンバラバラ。  
風呂敷かぶって駆け回る。

雪を丸めて投げ合う子供たち。  
雪道をサクサク走る、スバル360。

おしくらまんじゅうで暖をとる。  
火鉢を囲んで、まる餅を焼いている。  
白黒テレビからは「1週間のごぶさたでした。」  
と、始まる歌謡番組が流れている。

踏み板にうまく乗れず悪戦苦闘。  
薪で沸かした五右衛門風呂。

冷えきったカラダを優しく包んでくれる暖かい布団。  
一日の終わり。足もとからこころの奥まで暖めてくれたような。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!`#\$%&`()\*+,-.

緑の山林をくぐりぬけ、  
川そばを走る、開放型列車。

折り重なる山々。中腹まで続く棚田。  
点在する家々。清々しい山林の風景。  
深い溪谷をまたぐ橋。

幾つものトンネルをぬけ、  
川面から100mほど高い、大きな鉄橋を渡る。

天空をコトコト進むかのように。  
まるで空を飛んでるようだ。

山奥には白い滝。冷気に包まれた丘からは雲の海。  
開放された窓からは青い風。やさしい風が吹いている。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

やさしい風。  
青い風。

どこまでも続く青い海、  
青い空。広大な天然芝。

島の突端には海の中から突き出た  
黒い奇岩でできた大きな観音柱が  
そびえ立つ。

ウミドリたちが化粧した観音柱は  
自然が創り上げた白と黒の芸術作品。

よせてはかえず波の音は、  
玄界灘のオーケストラ。

大きな波しぶきがリズムを刻む。

波が歌う。風が歌う。ウミドリたちも歌っている。

風波  
がが  
可々可々  
う。う。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

あ  
か  
り  
。  
こ  
こ  
ろ  
の

門をくぐれば、  
黒塗りの茅葺き屋根。  
右手には水車が回っている。

風雪に耐えてきた長屋の軒下には  
大きなツララ。モノトーンの風と  
グレースケールの雪景色。清冽な沢水。

囲炉裏がまられた部屋の中に、  
ほの明るいのランプが出迎えてくれる。

テレビもない、電話もない。あるのは自然の音だけ。  
化粧塩された岩魚と山の芋鍋。  
そして炭火で燗した地酒が灯してくれる、  
近くて遠い遠い昔。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ガラガラと戸を引けば、  
年季が入った  
木製カウンター。

古き  
良き  
時代

に

乾杯。

乾きもの、魚肉ソーセージ、缶詰め、  
大人の駄菓子所狭しと立ち並ぶ。

冷蔵ケースからラガービール大瓶を取り出し、  
とりあえずの至福の一杯。

店の中は、「よかよか」、「飲まんね」、と  
九州なまりの大きなBGM。

時を刻み続けた大きな振り子時計。

剥き出しの電気配線。

ここは時が止まった昭和初期の老舗酒店。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

動時  
いが  
て逆  
さ  
いさ  
く。に

店内のざわめきをよそに  
一人静かにグラスを傾ける。

隣に座った若い年寄りたちは  
裸電球だった時代を懐かしみ、  
白黒テレビ、赤電話、501、  
そして反戦歌の話で盛り上がる。

小さなグラスを片手に、  
過ぎ去った時を惜しむかのように、  
一口、また一口とグラスを傾ける。

巻き戻されていく。時が逆さに動いていく。  
見知らぬ時の見知らぬ人に、  
なぜか出逢えそうな、そんな気がする。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

金のたまご、  
また一つ産みました。

一羽のニワトリを飼っている  
貧しい男がいました。

ある日の事、このニワトリが  
金のたまごを一つ産みました。

男はビックリして、叫びました。

「これはすごい！高く売れるぞ！」

ニワトリは次の日も、また次の日も、  
毎日一つずつの金のたまごを産みました。

おかげで貧しかった男は新しい家に住み  
おいしい物を食べ、きれいな服を着る事が出来ました。

でも、おれよりも大きい家に住み、高い服を着ている奴は大勢いる。  
もっとたくさんのたまごを産んでくれればいいのだが。

…さてよ。あのニワトリの腹の中には、金の固まりがあるに違いない。

「そうだ、それを取り出せば、おれはもっと金持ちになれるぞ！」男はそう思って、  
すぐにニワトリのお腹を切り開きました。でも、金の固まりなど出てきません。  
ニワトリは死んでしまい、すぐにお金がなくなって、また貧乏になってしまいました。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

坂道のぼって  
山道ぬければ  
景色な見晴台。

空気を包んだおにぎり頬張り  
まわりを見渡ししてみる。  
鳥の鳴き声、段々畑、海も見える。

ミカンを採ってる人がいる。  
釣りをしている人がいる。灯台も見える。  
遠くにはいつもの定刻フェリー。

青々とした海、広々とした空。  
さあ、今日はここを描こう。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

楽 今  
raku raku を  
楽 描  
ス ケ ッ チ  
こ う 。

気軽にマンボ。

あの歌い手さんたち、  
どこからやってきたの？

ハバナから来てるのだろうか？  
それとも自由な土地、サンチアゴ。  
いや、山の人たちさ。  
平野に下りて歌うのさ。

コンガ、ボンゴ、マラカス、楽しいリズム。  
心ウキウキ、楽しく歌おう。  
ラム酒片手に陽気に踊ろう。  
おどけてマンボ、はじけてルンバ。  
リズムに合わせて、1、2、チャチャチャ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

楽しく  
ルンバ。

あの歌い手さんたち、  
どこからやってきたの？

ハバナから来てるのだろうか？  
それとも自由な土地、サンチアゴ。  
いや、山の人たちさ。  
平野に下りて歌うのさ。

コンガ、ボンゴ、マラカス、楽しいリズム。  
心ウキウキ、楽しく歌おう。  
ラム酒片手に陽気に踊ろう。  
おどけてマンボ、はじけてルンバ。  
リズムに合わせて、1、2、チャチャチャ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

風に吹かれて  
歩いて見よう。

いつもの通りは  
桜がいっぱい。

夢を売ってる店もある。  
幸せを分けてくれる店もある。

となりの店を覗けば、  
アコースティックな音色といつもの歌がある。

通りをぬければ思い出もいっぱい。  
街ゆく人はみんな陽気な仲間たち。  
捜していたものは、きっとそよ風が運んでくれる。

路地を曲がれば、いつもの笑顔に出会えるさ。  
口笛吹けば、笑える明日が見つかるさ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

笑える明日が  
見つかるさ。

ある夏の日の事です。  
あり達は一生懸命  
働いていました。

きりぎりすは涼しい葉っぱの下で  
歌をうたっていました。

「おや～、ありさんじゃないですか～。

こんなに熱いのに一生懸命働くななんて大変だね。」

ありさんを見たきりぎりすがありに声をかけました。

「やあ、きりぎりすさん。大変だけど、一生懸命働かないとね。

寒い冬が来る前に蓄えを作っておかないと。」

「冬なんて、まだまだずっと先じゃないか。それより一緒に歌おうよ。」

「ダメだよ、僕は頑張ってるんだ。きりぎりすさんも

今からちゃんと働かないと冬が来たときに大変だよ。」

真面目なありは夏の間、一生懸命ずっと働いていました。

お気楽なきりぎりすは夏の間ずっと歌っていました。

やがて季節が変わり冬になりました。

ありときりぎりすはどうなったのでしょうか？

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

きりぎりす。  
お気楽な

勝ちどき橋 渡れば  
浪花節でも  
闘こえそうな

粋な親父の  
声がかかる。

三味線の音風に柳ゆれ  
姐さん、これからどちりまで。

向こう三軒両隣りは  
人なつっこそうな、笑い声がかぼれてくる。  
さんま焼けたか。粋な親父の声がする。

相変わらずの人達が  
今も昔も泣き笑いのここが下町。  
さんま焼けたか。粋な親父の声がする。

ダダ

Dada

駄

・

た

・

ダ

・

だ

・

DA

!

。

跳び回る、走り回る、  
カラダいっぱい叫ぶ。

駄・た・ダ・だ・DA!

DA・だ・た・ダ・駄!

何度も、なんども繰り返す。

大きな声で泣いている。

ぎゃあ～・ギョア～・giyar～・gyuar～!

周りなんてお構いなし。

じっとじっと一点を見つめる。

わう・ワウ・waw・WAW!

一体何があるのか、見えるのか?

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

暑い熱い夏の日のことです。

働き者のありは、せっせせっせと  
食べものを運んでいました。

キリギリスは涼しそうに草むらで  
得意のバイオリンを弾いていました。

「ありさん、一緒に歌おうよ。」とキリギリスさん。  
「冬がくる前にしっかり食べものを運ばないと大変になるからね。そんな暇はありませんよ。」とありさん。

やがて葉っぱは紅くなり、風に舞い始めました。

それでも得意になってキリギリスはバイオリンを弾いていました。

やがて冷たい北風がビュービュー吹いてきました。

キリギリスは食べ物をさがして野原を歩きまわりましたが、  
もうどこにも食べ物はありません。

雪がふり、寒さに震え、お腹をすかしたキリギリスは  
ようやく一軒の家を見つけて戸をたたきました。

そこはありさんの家でした。

寒さに震えているキリギリスをあったかい家の中に入れて、  
たくさんごちそうしたのでした。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

働  
き  
者  
で、

あ  
り  
さ  
ん。  
あ  
り  
さ  
ん。  
あ  
り  
さ  
ん。

切  
な  
い  
歌  
声  
。  
ラ  
ヂ  
オ  
か  
ら  
流  
れ  
る

ウエスタンブーツに  
ラップズボン。

汚いブルージーンズを履いて  
髪も長く伸ばした。

トランジスタラヂオから流れる  
寂しげで、切ない歌声。

しゃべるように、つぶやくように、語るように  
アルペジオにメッセージを乗せて。

叫ぶように、怒鳴るように  
カラダをゆすり、ストロークに乗せて  
伝えてくれたメッセージ。

誰よりも何よりも個性で届けてくれた1970年。  
気持ちの大きさも教えてくれた。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

南船  
北に  
に乗  
って  
市糴  
する。

千余里で対馬国に至る。  
その大官を卑狗といい、  
副を卑奴母離という。  
住んで居る所は絶島で、

方四百余里ばかり。土地は山険しく深林多く、  
道路は禽鹿の道の如し。

千余戸有り、良田無く、海の物を食べて自活し、  
船に乗って南北に市糴する。

又南に一海を渡ること千余里、名づけて瀚海という。  
一大國に至る。官をまた卑狗といい、副を卑奴母離という。  
方三百里ばかり。竹木叢林多く、三千ばかりの家有り。  
やや田地有り、田を耕せど、なお食足らず、

また南北に市糴す。また一海を渡る千余里、末盧国に至る。  
四千余戸あり。山海に浜ている。草木茂盛し、行く前人を見ず。  
好んで魚鮓を捕らえ、水深浅となく、皆沈没してこれを取る。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

空は青い、雲ひとつない。  
カラッとした、いい天気だ。

肉、魚、野菜、今日は特別に仕入れた  
ハマグリもあるぞ。麦酒、酒、焼酎にワイン。  
これだけあればダイジョーブ。

まずは1杯、カンパイだ。テントを張って  
買い込んだカップ麺で腹ごしらえ。  
川辺で水浴び、飛び込み。Oh! 潜ってる奴もいるぞ。  
いつかの少年のように。

さあ、暗くならないうちに夜の準備だ。  
麦酒片手に火起こし担当、料理担当、薪拾い担当。  
BGMを聴きながら、ごきげんにハミング。

腹減ったな～。と長老が肉の焼き加減を見ている。  
もお喰えるぞ～。と声が飛ぶ。  
とりあえず乾杯だ!。「おつかれ、カンパ～イ。」  
水音が聞こえる。星もきれいだ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?!`#\$%&`()\*+,-.

ハ  
ミ  
ン  
ゲ  
ン  
。

思い  
思い出  
ステージ。

今日はステキな日だから、  
お気に入りの  
白いオープンシャツに、  
折り目のついたスボンにジャケット。

いつもと違う日だから、  
ちょっとオシャレにワインで乾杯。

特別な日だから、思い出包んで届けよう。

お祝いだから、笑顔でニコニコ、お話しよう。

楽しい日だから、まだまだ、まだまだ、まだまだ飲もう。

うれしい再会だから、いっぱい一杯、しっかり語ろう。

70年代、生きてきた仲間だから、今日からそして明日までを朝まで歌おう。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ハド  
ラキ  
ハド  
ラキ  
酒、わ  
タ、わ  
バ、く  
コ。

いっばい悩んで、楽しんで。

青春、ドキドキわくわく  
ハラハラ、酒タバコ。

カッコつけたってサマにならな  
い。スーツ姿で気取って  
みても、似合わないのが  
若さの印。

今しかできないことも、  
今だからできるとでき  
るはず。しっかり夢  
見て、追いかけて。

今日も元気で、明日は  
もっと元気で、自分  
らしく、自分を持って  
生きてゆこう。

Happy Birthday, お  
誕生日おめでとう。  
もっと素敵な明日が  
待ってるよ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.

ハド  
ラキ  
ハド  
ラキ  
、  
酒わ  
タバコわ  
く  
く  
バ  
コ  
◇

いっばい悩んで、楽しんで。

青春、ドキドキわくわく  
ハラハラ、酒タバコ。

カッコつけたってサマにならな  
い。スーツ姿で気取って  
みても、似合わないのが若  
さの印。

今しかできないことも、  
今だからできるとでき  
ないはず。しっかり夢  
見て、追いかけて。

今日も元気で、明日はも  
っと元気で、自分らしく、  
自分を持って生きてゆ  
こう。

Happy Birthday, お誕生  
日おめでとう。  
もっと素敵な明日が待  
ってまよ。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.



みみ  
んん  
なな

夢  
の  
中。  
。

さわやかな風がふいている。  
こちよい波の音。

遠くから聞こえてくる  
懐かしのメロディ。

ここは南の島の夢の島。

バナナボートに乗っている。  
水上バイクで走っている。

かき氷を食べている。  
スイカを食べてる。  
バーベキューをやってる。

ハンモックで気持ちよさそう。  
みんなみんな夢の中。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"/#\$%&`()\*+,-.

朝顔、  
昼顔、  
夜の顔。

夏を感じさせてくれる  
夏の花、朝顔。

いっぱい咲き誇った姿は  
小学生の頃の  
観察日記を思い出す。

毎日毎日水をやり、成長を記録する。  
はじめて育てた生き物かも知れない。

花にも朝元気な姿を見せる物もあれば  
昼、夜に元気な花もある。

「24時間戦えますか？」なんてCMあったけど  
ある時間元気でいられればいいな。24時間でなくてもね。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&`()\*+,-.

# クラゲが出るから お盆過ぎには 泳いではいけない。

泳が  
ない。  
盆が  
戻れば  
海の子  
は

海坊主に足を引っ張られるから  
泳いではいけない。

と海の子は言われてきました。

また先祖の霊がお盆に人間界に帰って来て  
お盆の最後の日にあの世へ戻っていくから  
水面には霊がいっぱいいて

あの世に連れていく。とも言われています。

信じる信じないは別にして、

お盆過ぎれば水温が急激に下がり、

漁師は海の怖さを誰よりも知っているのだ

そういう風に言ったのでしょね。

良くないとされることは避けた方がいいですね。

8月15日は終戦日だし。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
0123456789:;<=>?@!"#\$%&'()\*+,-.